

# 情報を Information 市民に!

オープンデータ、ビッグデータ、アイデアソン、ハッカソン、地域経済分析システム (RESAS:リーサス)…。なかなかなじみのない方も多い言葉であると思われま。しかし、こういう言葉を目にした、耳にする機会が今後増えていくかもしれません。

国の省庁や、自治体、企業等が持つ膨大な情報を、市民や企業・団体が活用しやすい形で開放し、その開放された大量データを収集・分析することにより、市民などが新たな知見を発見したり、効果的に活用して新たな価値を創造するという流れができつつあります。

これによって、住民が公開された様々な情報などを活用しながら、自分たちの身近な課題や、地元の強みや弱みといった特徴などについて知り、様々な制限や制約についても勘案しながら解決策を考えるきっかけとなる情報の収集や分析が行えるようになります。

学校でも総合的な学習をはじめ様々な情報教育・IT教育が行われ始めていますが、大量の情報を見つけ出し、活用し、分析をする力が一人一人の住民・国民・消費者にも求められるようになります。また、行政機関には、単に公開するだけではなく、探しやすい、分かりやすく、利用しやすい形での情報提供が当然求められます。

- 今後、できるようになる可能性がある例
- 区内のどの地域で単身高齢者が増え、どのようなサービスが求められるかが推測できる
  - 中野駅周辺や西武新宿線沿線の街づくりで人の流れがどのように変わるかを推測できる
  - 区民にも有益な事業を生み出す社会的起業家やベンチャー企業、NPOなどを支援できる

- 用語説明
- オープンデータ**  
誰でも入手し、引用・転載・コピーがしやすく、再配布や再利用ができる利用ルールで公開された、パソコンなどで分析しやすい情報・データです。
  - ビッグデータ**  
企業や行政などが持つ、従来のシステムでは保管、解析が難しい巨大な情報データ。記録・保管して即座に解析できれば、社会やビジネスに有用な知見を得て、新たなしくみやシステムを生み出す可能性が高まります。
  - アイデアソン**  
「アイデア」と「マラソン」を掛け合わせた造語です。様々な分野の人々が集まり、グループディスカッションなどを通じて、新たなアイデアの創出やモデルの構築などを短期間で効果的に行います。

- ハッカソン**  
ソフトウェアエンジニアリングを指す「ハック」(hack)とマラソン(marathon)を掛け合わせた造語です。元々はプログラマーやデザイナーから成るチーム間でのアイデアや成果を競い合いを指しましたが、近年は組織の壁を超えた優れた発想を活かして、新しい商品やサービスの創出につなげる「オープンイノベーション」の手法の一つとなっています。
- 地域経済分析システム (RESAS)**  
地域経済分析システム (RESAS:リーサス)は、「ビッグデータを活用した地域経済の見える化システム」です。地方自治体の取り組みを情報面で支援するために、国のまち・ひと・しごと創生本部事務局が提供する、産業構造や人口動態、人の流れなどの官民ビッグデータを集約し、可視化するシステムです。



## 中野どらごん Vol.22

作:ドルシヨック竹下

平成37年には中野区内の後期高齢者人口が平成26年の1.4倍になると言われている。介護給付費も1.4倍に増加する。75歳以上の後期高齢者は、介護給付費が1.4倍に増加する。介護給付費も1.4倍に増加する。

そこで介護予防にもつなげるのが4月からスタートした包括ケア総合事業。歩行速度低下、体重減少、フレイル(虚弱)予防改善し、予防改善し、予防改善し、予防改善し。

元気が高齢者には高齢者向けサビスの担い手にもなってもらいたい。街には高齢者の居場所を作ったりと、高齢者の介護予防も推進しようという事業だよ。

安心して暮らしていただけるように、街には高齢者の居場所を作ったりと、高齢者の介護予防も推進しようという事業だよ。

# 不安と孤立を見捨てない 石坂わたるの たつのご通信

http://ishizakawataru.net/  
@ishizakawataru 09wishizaka@mbr.nifty.com

編集・発行 共生中野 〒164-0014 中野区南台2-51-7-305 TEL&FAX.03-6304-8758  
[中野区議会]〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1 TEL.03-3228-8885(無所属控室) 2017・春号



**石坂わたる**  
1976年生まれ。養護学校教諭、区立第七中学校・第十中学校 介助員などを経験し、2015年4月、中野区議会議員選挙にて再選(2期目)。精神保健福祉士、行政書士。

区議会議員としての2期目の任期も折り返しとなりました。国政や都政において行政も議会も大きく動いていますが、国政政党や都道府県レベルのローカルパーティに所属をしていない無所属の議員としてしっかりと中野区民の生活や福祉の向上と、中野区全体の安全・安心なまちづくりのために頑張っていきたいと思ひます。今後も多様性のある中野のまちづくりを進めるために多くの人と一緒に考え、みんなで一緒に中野のまちづくりに取り組んでいきたいと思ひますので今後ともよろしくお願ひいたします。

### 石坂わたるの活動報告

1月4日	中野区民活動センター
1月7日	放送大学「ジェンダーと政治」を受講
1月9日	中野区成人のついで
1月11日	南中野地区区民活動センターの集い
1月13日	中野区議員労働組合旗開き
1月14日	東京都行政書士会 東京行政書士政治連盟新年会
1月15日	区立新山小学校児童会区立第二中学校障がい体験授業を参観
1月17日	区立南中野中学校卒業式
1月18日	障害者の自立と政治参加をすすめるネットワークを主催
1月18日	南台4丁目町会新年会
1月20日	オランダ大使館レセプション
1月22日	AGT講演会
1月23日	青少年育成南中野地区委員会新年会
1月24日	商店街連合会南中野地区連合会新年会
1月26日	中野区福祉協議会新年会
1月27日	中野区福祉協議会新年会
1月28日	中野区福祉協議会新年会
1月29日	中野区福祉協議会新年会
1月30日	中野区福祉協議会新年会
1月30日	中野区福祉協議会新年会
2月3日	多田神社祭
2月4日	町田市17回まちだ男女平等フェスティバルにて講演
2月5日	中野区知的障害者青年学級いすみ教室入学生
2月12日	3月12日
2月18日	3月18日
2月21日	3月21日
2月26日	3月26日
3月4日	3月4日
3月5日	3月5日
3月11日	3月11日
3月12日	3月12日
3月16日	3月16日
3月17日	3月17日
3月20日	3月20日
3月21日	3月21日
3月23日	3月23日
3月24日	3月24日
3月25日	3月25日
3月26日	3月26日
3月28日	3月28日
3月31日	3月31日
4月1日	4月1日
4月2日	4月2日
4月6日	4月6日
4月7日	4月7日
4月10日	4月10日

## メディアに掲載されました!

2017/2/17

公民新聞 オンライン版 「婚姻平権熱度雖高 同志曝光仍有死角」  
https://www.peopo.org/news/330389  
昨年台湾の立法院で行われた「東京新生代議員論壇」に招聘されて登壇されたことなどについて掲載中で、石坂についても取り上げられました。

### 若年性認知症の実態調査

認知症というと高齢者のイメージがありますが、64歳以下の認知症を若年性認知症といいます。40歳以上であれば介護保険の対象となります。今後の中野区における若年性認知症の支援や対応を拡充していくための前提となる実態調査を行うことになりました。

石坂わたるは平成26年第2回定例会一般質問、平成28年第1回定例会一般質問、平成29年第1回定例会一般質問などにて、若年性認知症支援の強化、居場所の確保、地域包括ケアの中での取り扱いについて質問を行い、提案や不十分な点への指摘などを行ってきました。

### 今年度の予算では、これまでの議会質問により次のようなことが進みました。

#### 平成29年度(2017年度)の予算が可決されました。

##### 就学前の障がい児への巡回指導等の体制強化

発達障がいなどの障がいを持つお子さんで、通常の幼稚園や保育園に通うお子さんもうらっしゃいます。こうした就学前の障がいを持つお子さんに対する巡回指導の体制を強化することとなりました。

平成24年第3回定例会決算特別委員会子ども文教分科会では、巡回の頻度が低く不十分ではないかという点を指摘しました。

##### 障がいのある幼稚園児の介助者配置補助の拡充

私立幼稚園の特別支援教育補助として障がい児の対応をする職員を確保するための経費の補助が拡充されました。今回の拡充により障がいのあるお子さんの支援をする専任の介助者を配置(加配)することが可能になる規模の予算措置となりました。

平成24年第1回定例会予算特別委員会子ども文教分科会、28年第1回定例会予算特別委員会総括質疑で取り上げました。

##### 高齢者向け二次避難所に災害時用備蓄物資を配備

災害時の高齢者向け二次避難所の10か所に備蓄物資の配備がされることとなりました。これまでは二次避難所には基本的に備蓄物資が配備されておらず、災害後に必要に応じて通常の避難所の備蓄物資を二次避難所に人手で運び込む想定となっていました。今後は乳幼児親子や障がい児・者のための二次避難所への備蓄物資の配備も求めていきたいと思ひます。

平成26年第3回定例会震災対策特別委員会にて、食料や寒さ対策などに関する物資を準備するよう求めていました。

★たつのご通信は年4回の発行をしています。今後の郵送を希望される方はEメール、FAX、電話(不在時は留守番電話をご利用ください)などにてお知らせいただけます。たら幸いです。

メールニュース配信中!  
09wishizaka@mbr.nifty.com  
たつのご通信は年に4回ほど発行予定です。ご希望の方には郵送いたします。通信を郵送します!

お話をうかがいます  
中野区議会内では、無所属議員控え室にいます。ご相談・ご意見をうかがいますのでお電話・メールで在室確認の上、お気軽にどうぞ。また、3名以上の区民の方の集まりにも調整の上、うかがいます。

ボランティア募集  
中野区内でのたつのご通信の配布、郵送準備などをお手伝いしてください。配布はご自宅の近くだけでもかまいません。(50部程度から可能)

TEL&FAX 03-6304-8758(事務所)  
MAIL 09wishizaka@mbr.nifty.com

共生中野 学習会のお知らせ  
LGBT(性的少数者)についての学習会  
予約不要・途中入退場可 資料代100円

6月11日(土) 13:30~16:00  
上鷲宮区民活動センター 洋室3号  
西武池袋線富士見台駅 徒歩8分  
西武新宿線ノ国駅 徒歩15分  
中野駅より関東バス八成新小学校行 都立武蔵が丘高校バス停下車徒歩8分

「最近自治体の取り組みや、テレビなどでLGBTという言葉を見かけるようになったのだけれどもなんだかよくわからない。」「自分の家族や友人にLGBTの人がいるのだけれども、どういう風にかかわればいいのかわからない。何か困っていたりもするのかな?」「セクシュアルマイノリティ、性的少数者、LGBT、SOGIとかいろいろ言葉が使われているけれどもどう違うの?」「性同一性障がい者と同性愛者はどう違うの?」そんな疑問が解消する学習会です。

# 不安と孤立を見捨てない 石坂わたる

一般質問(H29.2/22)  
平成29年第一回定例会(2/16~3/27)

## 情報・データを区民に分かりやすく 使いやすい形で公開すべき

石坂 中野区の基本構想では、「10年後に実現するまちの姿」として、「区民が質の高い情報を得て、区政の政策決定過程へ参加しています。」ということ掲げています。

区のホームページでは様々なデータが公開されています。しかし、ファイルの形式やデータの形式について部署を超えた全庁的な統一がされておらず活用がしづらい状況です。統一ルールが必要はないでしょうか。

区長 各所管で公開しているデータにはPDF形式等加工に適さない形式のものもあり、全庁で統一したデータ公開の方針を定める必要があります。今後、指針の策定や、区民が積極的にデータを利用し様々な取り組みが進むような活用気運の醸成に取り組めます。

石坂 詳細な情報を全て公表することに加え、インターネットに不慣れな人でも操作しやすいホームページの工夫が必要です。

子ども、知的障がい者や発達障がい者、外国人等に分かりやすいホームページや区報にすることや、高齢者にとっても視覚的に操作しやすいホームページにすることが必要です。これは、日ごろ行政の発信する情報について「とっつきにくく、難しい」と感じている人にとっても有益なものとなります。

区長 今後はより効果的で伝わりやすい情報を提供できるよう検討を進めていきます。

## 客観的な情報に基づいた ワークショップなどを行って、 住民参加を進めるべき

石坂 現在、区長との対話集会や、様々な施策を進めるうえでの意見交換会などが行われています。今後、情報・データに基づき、様々な現状や制約について知ったうえで、区職員と区民が参加をするアイデアソンや、ワールドカフェ、KJ法などのワークショップの手法を活かした形を検討してはどうでしょうか。

このような方法をとることで、全ての参加者からの積極的な発言を引き出すことができ、現実的で妥当な合意形成に至ることができる可能性が高まることとなります。

区長 現在も参加者の意見を引き出すような工夫をしながら実施しているところです。

今後は目的に応じた対話手法の研究を行い、区民参加の活性化につなげたいと思います。

## 地域包括ケアにおいて、担い手としてだけでなく、しくみづくりにも 住民参加を進めるべき

石坂 地域包括ケアのサービスの担い手になるだけでなく、しくみの整備や、改善にも、住民や住民団体に参加をしてもらうことが不可欠です。地域包括ケアにおいても、オープンデータやアイデアソンの考え方を踏まえた取り組みを進めてはどうでしょうか。

区長 地域包括ケアを推進していくにあたって様々な分野の人とのアイデアを結集していく必要があると考えております。その検討手法の一つとしてアイデアソンなどの先駆的な事例も参考に工夫をしてみたいと考えています。

## 障がい者福祉と介護保険の 切れ目のない支援を整備すべき

石坂 65歳以上の障がい者や、40歳~65歳未満の特定疾病の方には介護保険と障がい福祉の両方に精通した支援者が必要ではないですか。

区長 今後障害や特定疾病に基づく固有のニーズ等について把握に努め、サービスやプログラム内容について検討をしていくこととしています。



野方区民活動センターにて男女共同参画についての学習会

## 予算委員会総括質疑(3/2)

## 男女共同参画基本計画の改定と、 女性団体の育成について

石坂 男女共同参画基本計画の改定にあたり、区と連携をしている女性団体があまりないように感じられます。今回の改定では難しくとも、改定後の男女共同参画基本計画を実施していく、あるいは、さらにその5年後の改定に向け、区内の幅広い女性の声を集約し、区と連携協働して男女共同参画を推進していくようなキーとなる女性団体の育成や支援を男女共同参画センターが担っていくことも必要ではないですか？

答 男女共同参画センターが幅広い区民の声を吸い上げるとともに、講演会や研修会をさらに促して、関係団体と連携を図りながら、男女共同参画計画推進に向けた支援を行ってまいります。

石坂 新たに女性団体を立ち上げたり、女性団体が活動していく上で区と連携をしたり、何らかの支援を必要としている場合には、相談

に乗っていただけるという理解で大丈夫でしょうか。

答 男女共同参画センターが支援していくことになると考えています。

石坂 女性職員が日ごろ仕事している上で感じている女性としての壁、あるいは男女共同参画を進めていく上で解決していくべき課題について自由に意見を出し合える場を設定し、その声を男女共同参画基本計画の中に盛り込んだり、計画を実施していく上での参考としていくべきではないでしょうか。

答 職員の声を広く聞き、男女共同参画基本計画を策定する上での参考にしていきたいと考えています。



LGBT成人式

## 新たに策定される教育大綱について、 多様性を尊重する運用をすべき

石坂 中野区でも様々な国籍の子が学校に通っています。それぞれがお互いの祖国・ルーツ・文化を尊重しあうこと、自らの祖国や文化を世界全体の中で相対的にとらえることをきちんと教育の中で教えることが必要ではないですか？

答 世界の人々の持つ文化・歴史などさまざまな背景をありのままに受けとめ、先入観にとられない公平公正な価値観を生むとともに、自分の国をよく知り、愛し、世界に目を向ける未来志向を身につけられるようにしたいと思います。

石坂 「家族を大切に、愛情と責任を持って支え合う家庭」、「多様な人間性を認め合い、思いやりにあふれる人」という2か所の文言を考え合わせると家族間の多様性を認め合うことが当然必要であると思われれます。

ひとり親家庭や事実婚家庭の子ども、母親とその同性のパートナーと生活をしている子ども、児童養護施設から学校に通う子どもたちが社会の中で特異な目で見られることがない地域社会や教育環境を作っていくという理解でよいですか。

答 多様性を理解し、自他を認め合う社会を目指すことや、個人や社会の多様性を理解し、相互に尊重し合う心の教育に力を注ぐことにしています。それによって先入観にとられない社会をつくっていきたくと考えています。

## 特別支援教育や障害理解教育の 拡充を進めるべき

石坂 学校のPTAの方々からも特別支援教育についてきちんと知ることができる機会がもつとほしいとの声も耳にします。

新たな取り組みや、改善が必要であると思いますが、今後どのように進めていきますか？

答 今年度から全小学校に設置した特別支援教室において、巡回指導を開始し、発達障害の児童に対する指導を充実してきたところです。保護者及び児童の理解を得るために、学校ごとに全ての保護者を対象に説明を行うなど、特別支援教育の内容や意義、あるいは発達障害等についての周知を進め理解を促したところです。これにより保護者が特別支援教育に触れる機会が増え、特別教育の充実や保護者の理解が広がっていくものと感じています。

## 生涯学習の内容の整理や 拡充もすすめるべき

石坂 中野区においては生涯学習は子ども教育部ではなく、健康福祉部が所管していますが、教育大綱なども踏まえた生涯学習についての全体像をどのようにしていくのかを考えることが必要です。生涯学習の全体像を整理し、生涯学習に関する計画・ビジョンについてを作成していくことが必要ではないですか？

答 現在策定中の教育大綱など踏まえて、生涯学習の現状ですとか、課題を整理しながら検討していきたいと考えます。

石坂 また、教育大綱には「特徴、年齢、性別、思想信条、社会的少数派」という言葉がありますが、異なる世代の人、LGBT、外国人、障がい者、異なる価値観を持つ人などが生涯学習において、お互いの存在を尊重しながら共に学び、様々な人の存在を知る、そうした活動や学びを通しての地域づくりをしていくことも生涯学習における一つの観点として目指していくべきと考えますがいかがお考えでしょうか？

答 生涯学習においても、お互いの存在や異なる価値観を尊重しながら、ともに学び活動してこれを通じて地域づくりをしていくなど、多様性を理解して自他を認め合う社会を目指す必要があると認識しています。



昭和区民活動センターにてお茶会

## 高齢者も利用できる障害福祉 サービスの周知徹底を行うべき

石坂 介護保険にはない障害福祉のサービスを介護保険のケアマネジャーさんに知っても

らう。あるいは、個々の障がい者やその家族が知っている状況をつくっていくことが必要です。研修機会を設けたり啓発に努めていくことが必要ではないでしょうか。

答 区で実施するケアマネジャー等の介護事業者向けの研修において、障害福祉サービスに関する研修の実施も組み込んでいきたいと考えます。



区立新山小学校閉校式

## 厚生委員会(1/25、2/16、3/14・15)

● 妊娠期相談支援について他自治体で妊娠届を出した方が中野区に転入をしてきた場合、転入者に対する情報の周知はしているものの、転入後に実際の支援につながっているのどうか把握ができていないことを指摘し、しっかりと把握をしてフォローをしていくよう求めました。

● これまでの知的障害者青年学級いずみ教室廃止後に新たに始まる「まなびーくらす」について質問。これまでのいずみ教室でボランティアをしていた人たちに新事業やその他の事業などで活躍してもらおうことや、28年度に養成講座で育成したボランティア候補者の活用をしっかりと行うこと、新事業の定員が絞られているが希望者が多くいる場合には適宜定員の見直しをすることを求めました。担当から「定員だけでなく、実施しながら見直し等を行っていく」という回答がありました。また、知的障がい者が一生学び続けられる生涯学習の場の確保についても取り上げ、まなびーくらすを卒業した後も、その後の活動場所の確保や、確保した先につないでいくことをしっかりと行うように求めました。

● 高齢者のグループホームや小規模多機能型居宅介護の増設に難航していることについて、他自治体の状況も見ながら工夫をするよう求めました。

● 鷲宮体育館のプールには障がい者の利用料の減免があるのに対して、南部スポーツコミュニティプラザのプールには減免制度がないことを従来より指摘してきました。今回減免ができるよう条例の改正案を可決しました。今後、規則のほうで減免規定が定められる予定です。

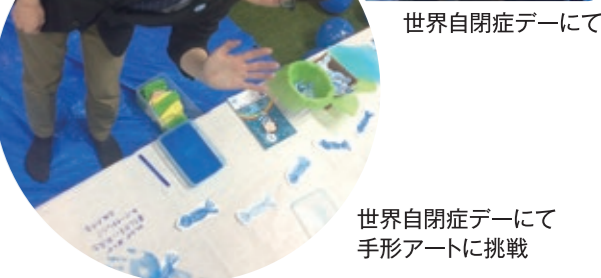
● 区民活動センター単位で地域包括ケアシステムを支えるアウトリーチチームについて、高齢者だけでなく、児童や障がい者のケアについても専門性を発揮していくことを確認しました。

● 障がい者スポーツの体験について参加者が増えるように、学校での健常児・者向けの広報や、障がい者施設での障がい児・者向けの広報を強化するよう求めました。

● 障がい者の差別解消に関する相談窓口が障害福祉分野ではなく、福祉推進分野に置かれることについて、福祉畑の経験のある職員の配置や、専門の部署からスーパーバイズを頼めるようにすべきと要望をしました。



世界自閉症デーにて



世界自閉症デーにて手形アートに挑戦

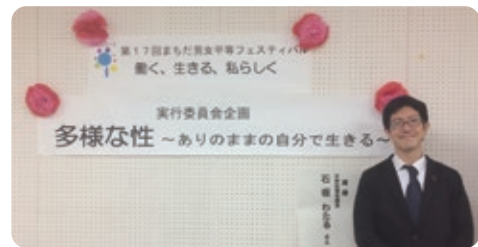
## 区内駅周辺等まちづくり調査 特別委員会(1/20、3/22)

● 中野駅南口エリアに今後設置を検討する共同運用(予定)の荷捌き車両の駐車スペースについて、スペースができることでバス等の運行の妨げとなる駐車が減ることは期待できるものの、その設置が歩行者、自転車の妨げにならないよう確認しました。

● 中野駅前だけでなく路線の途中のバス停についても車いすの方の乗降に不便が生じないようにバリアフリー化を進めるよう求めました。



なかのみなみ保育園卒園式



またち男女平等フェスティバルにて講師